

ひかり

2015 年 5 月号

日本聖公会 三光教会

第 636 号



Pentecost
聖霊降臨日

〒142-0064 東京都品川区旗の台 6-22-24

電話 03(3781)2554

FAX03(3781)2544

http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/

かの日には、わたしが父の内におり、わたしもあ
なたがたの内にいることが、あなたがたに分かる。

創立 救主降誕 1912 年(大正元年)11 月 2 日

(ヨハネ 14:20)

聖霊が降される

司祭 グレース 神崎 和子

「聖霊降臨」とは聖霊が私たちに与えられた、私たちに降ったということ

です。ではこの「聖霊」とは何でしょう。

「霊」という言葉はヘブル語では「霊」と訳されるだけでなく、「風」とか「息」とも訳されます。そしてもう一歩広げて考えてみますと、この元のことばから「動くもの」とあるいは「動かすもの」という内容が浮かんできます。つまり息にしても、風にしても、目には見えないけれど「何かを動かす力あるもの」というイメージが見えてくるのです。

福音書もこの命の息、聖霊について記しています。十字架上で主イエスが亡くなり、弟子たちはすっかり打ちのめされていました。家の戸に鍵をかけ、心まで閉ざしていました。その弟子たちの真ん中にイエスが立たれて「『あなたがたに平和があるように、父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす』」そう言うてから、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖霊を

受けなさい』(ヨハネによる福音書 20:21-22)。

イエスから聖霊を受けて弟子たちに大きな変化が起きました。イエスを見捨てて逃げたという、後ろめたさ、絶望感から死んだようになつていた弟子たちの群れが、起き上がったのです。復活したのです。イエスによつて与えられた使命に向つて弟子たちは動きだしました。これは命の息がイエスによつて弟子たちに吹き込まれたからです。

このことは聖霊が常に私たちと共にいてくださること、共に働いて下さることを示しています。私たちが何らかの行動を起こし、その方向を定めようとする時、聖霊は必ず私たちの側にあつて行く道を示して下さいのです。祈りと共に私たちが一つの決断をする時、聖霊の働きが私たちに及んでくると信じます。聖霊によつて起こされた弟子たちのように、聖霊の働きと導きを信じて私たちも遣わされてゆきましょう。

5月・6月の予定

◆5月

19 日(火) 聖書の学び(新約)

24 日(日) 聖霊降臨日

25 日(月) 司祭教会博士ビード

26 日(火) 主教カントベリーのオーガス

チン 聖書の学び(旧約)

27 日(水) 29 日(金) 30 日(土) 夏期聖職按手節

31 日(日) 三位一体主日

聖霊降臨後第1主日

◆6月

1 日(月) 6月逝去者記念聖餐式

殉教者ジャヤスチン

2 日(火) 聖書の学び(新約)

3 日(水) アフリカの殉教者

4 日(木) 聖餐感謝日

5 日(金) 殉教者主教ボニフェイス

聖書の学び(旧約)

7 日(日) 聖霊降臨後第2主日

9 日(火) 聖書の学び(旧約)

修院長コロンド

11 日(木) 使徒聖バルナバ日

14 日(日) 聖霊降臨後第3主日

16 日(火) 聖書の学び(新約)

19 日(金) 聖書の学び(旧約)

21 日(日) 聖霊降臨後第4主日

22 日(月) 殉教者オルバン

23 日(火) 聖書の学び(旧約)

28 日(日) 聖霊降臨後第5主日

イースター・ヴィジルの 礼拝を捧げられる幸せ

二年前に父の在宅介護から解放され、平日の礼拝にも参加できるようになってみて、毎月の逝去者記念礼拝をはじめ大勢の方々が平日にもかかわらず出席されていることに驚かされました。

さて、復活日の前の大切な聖なる3日間、聖木曜日（4月2日）、聖金曜日、聖土曜日のうちイースター・ヴィジルの礼拝の状況を紹介します。

イースター・ヴィジルの復活の朝へと続く、初代教会の時代から大切に守られてきた礼拝です。礼拝は午後7時から参列者は暗闇の中、ろうそくを手に聖堂入口に集まり、新火の祝別に始まり、パスカル・キャンドル（復活のろうそく）の点火、入堂行列、聖卓前で復活のろうそくの火から、各々、手にしているろうそくに火を点してもらいます。その後日課の朗読（第1日課から第7日課）、洗礼の約束の更新、聖餐式へと続きます。

私は今回で2回目の参加ですが、今年は、教父に指名されましたので

特に「洗礼の約束の更新」では思いを新たに、堅信志願者の方から有意義な機会を与えられたことに感謝します。

さて、日本聖公会東京教区では33教会・2礼拝堂に対して聖職者が不足し、主教（3教会の管理牧師）を始め、お一人の司祭が複数の教会を牧会する状況に置かれていることは皆さんもご存じのことと思います。そんな中、三光教会は、主日の礼拝は勿論のこと、平日の礼拝、ひかりの予定欄に掲載されている祝日の祈りが捧げられることに感謝します。

今後は、他教会の信徒の皆様にもイースター・ヴィジルを始めとした礼拝に参加していただけるように三光教会のホームページでご案内します。

復活日の前日は、教会内外の清掃翌日の持ち寄り愛餐会の食事の準備等で大変ですが、来年は準備を簡単にするなど工夫してクリスマス・イヴ礼拝のようにご家族でイースター・ヴィジルの礼拝に是非、ご参加下さい。

（礼拝委員会副委員長 吉川 晃）

■初めてのイースター礼拝

このイースター礼拝は私にとつて初めての礼拝でした。200人以上出席者があつて、トランペットもよく響いて、とても印象に残りました。来年もぜひ出席したいと思います。

（アコライト 福井康一郎）

婦人会だより

4月

4月19日 出席者35名
聖歌179番に続き、神崎司祭のお祈りの後、「聖書の中の女性たち」のお話を伺いました。

今回は、最初期のキリスト教の指導者達と家の教会について、特に使徒言行録にある、紫布を商う行商人であり、家の教会の伝道者でもあつたりディヤ（使16：4）と、パウロと共にテントを作りながら家の教会を始めた伝道者（使18：2、3）プリスカとアキラについて伺いました。

・フィリピン協働プロジェクトより
フィリピンのステパノ教会が来日する5月22日～27日のうち、25日の夕食を婦人会が担当する。
・宣教委員会より

春のフラワーアレンジメントに26名が参加。内3名が新入中学一年生の母親。楽しい分かち合いがあ

つたとの報告。

・「いわき市希望の杜福祉会」より、購入感謝のお礼状が届きました。

（記・藤田清子）

男子会だより

4月

4月19日に4月度定例会を開催。出席者13名。

・研修旅行は、「横浜山の手洋館と教会めぐり」です。6月6日（土）、午後1時現地集合、散策の後、中華街で食事をします。被災地訪問が続いたので、気楽な日帰りにしました。途中参加、帰宅も大丈夫、女性の参加も大歓迎です。

・恒例の女性と小学生以下無料の「母の日食事サービス」は、まぐろ丼を差し上げました。皆さんに喜んでいただき幸いでした。

フィリピン・ステパノ教会御一行の来日の際の応対について話し合いました。
（記・伊藤和彦）

春の教会ワーク、

天候に恵まれ無事に終了

4月25日（土）9時から、春のワークを実施しました。例年、教会の外回りや厨房、普段手の廻らない箇所の大掃除を行っていますが、今回はフィリピンからのお客様が宿泊す

るために副牧師館の水廻りの点検・清掃、床の補修、家具の修理等、「しろうと」による「匠」のような見事な仕上がりとなりました。参加者総勢30名、みなさまのご協力に感謝いたします。
(記・頼 仰史)

チャリティコンサート 「」協力をお願い」

聖ヒルダ会の事業を支えるため

「五東由衣ミュージカルの花束」

元劇団四季メンバーの五東由衣

さん(藤沢聖マルコ教会信徒)ら3人の出演による劇団四季ミュージカルナンバー。

日時 6月13日(土) 13時30分

会場 戸塚公会堂(横浜市)

入場料 三千円(前売二千五百円)

ベタニヤホームと三光教会は古くから縁が深く、この公演を後援しています。ご協力をお願い致します。詳しくは、三光教会の聖堂に貼つてあるポスターをご覧ください。お問い合わせ、チケット販売窓口は橋本夏子までお願いします。

(記・橋本夏子)

【訂正】 前号大斎研修プログラム

第③回の報告記事で、「名取市の箱塚佐倉団地」とあるのは「名取市の箱塚桜団地」が正しく、訂正いたします。
(編集部)

教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時からお昼までご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は礼拝中椅子にお掛けになったままで結構です。

- 礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。
- わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

礼拝のご案内

■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願
午前 7:30 聖餐式
午前 9:00 ステパノ会
(日曜学校)礼拝
午前 10:30 聖餐式
午後 4:00 タの礼拝

■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式